

陰陽之卷

卷物

和装本

ケ5

44

57







大坪本流陰陽之卷

天地開クル其清陽ナル者薄摩テ天トナリ重濁ル者  
 ハ淹滞テ地トナリ精妙ナルカ合ルハ搏易重濁カ凝タ  
 ルハ場難シ天先成テ地後ニ定ル神其中ニ生ス是天  
 地人之三ツニシテ有トアラレル物陰ト陽トニハラレル  
 春夏秋冬ニシテ以テ覺東西南北トモニ陰陽ニシテ南  
 ハ陽北ハ陰也我身則四面ニシテ前ハ陽ニシテ南後ハ陰  
 ニシテ北左ハ東右ハ西也是故ニ日月星辰東西南北  
 春夏秋冬ニテ咲自ノサハツリ扇子ノ風ニヨセテ虫



ノ飛露深キ楓ノ紅葉シテ霜置雪降雨ホトユス  
モ天地以身一ツニシテニツナラサル者也陽氣在時ハ  
心勇ニ陰氣在時ハ心危々タリサレハ陰陽ニ氣ハ自然  
正氣也私ノ思ニ引レテ喚シテ事ヲ為ハ陽氣  
ノ邪也私意ヲ忘レ直成心ニテニ勇事ハ正陽ノ氣也  
或陰氣ニシテ危々ト闇ク迷事アリ又氣静ニシテ  
寒夜ニ霜ヲ聞ク事是正陰ノ氣也

陽馬之事

陽馬トハ上悍前強之馬也乘染其体ニシテ心寛大成

一ニ手深トトシテカ氣身ヲク走ルツ止メ馬ツ  
蜘蛛ノ糸ニテ禦キヌシモ逆スシテ乘ヘシ馬強立  
騷シキ折柄ハ馬ニ勝テアリ五方ノ内ニ弱キハ  
ハ外掛詰ヘシ勝々々思フヘカラス鞍下ノ位口先ノ  
純合上ノ心ニ移リタル時請合ノ口ヲ取留乘ヘシ手綱  
鞞拘ハ前書ニ記ス故ニ畧之者也

陰馬之事

陰馬トハ下悍止馬也執カソ掛テ前心ヲ專ト乘ヘシ  
馬内成故夜ノ内ヨリ明方ニ馳出シタル吉陰ヨリ陽ニ



後心也口ノ合鞞下ノ純合前書ニ記ス馬ニ當リテハ勝心惡敷也馬ニ利シ得サスル事也口傳

陽中陽馬之事

陽中ノ陽馬トハ過物之事也陽悍ナル故乘人シ嫌イ乗サル馬也乗懸ハ大概陽馬ノ如シ唯夜乘遠乗ヲ專トスヘシ馬大陽成故日アル内ヨリ地道ヲ乘夜ニ入馳シ乗ヘシ陽ヨリ陰ニ入ル心也是第一之秘事也亦遠乗ナトスル時モ日アル内ニ乗出し夜ニ入家ニ帰ルヘシ撞ハ口傳有之馬奈合地道為着を

テ心騷シキ馬モ右同断也陰ノ馬ニモカヤウノ心アル馬アリ然レ一日ノ惡念ト知ルヘシ條ハ口傳

陽中之陰馬之事

陽中ノ陰馬トハ中悍之寒者也心直トシテ乗能者也馬ノ惣待上ニシテ馳ノ解アラハ必ス早馬ト成ヘシ能ク心得テ馬ノ心ヲ取請足ヲ内ニ乗常レシ乗ヘカラス時々急ノ足ヲ乗ヘシ鞞下口先ノ純合常ヨリ心能時急ノ足ヲ乗者也馬ヲ誥テ拍子ヲチカク免スヘカラス口傳秘事アリ



陽中之陰馬之事

陰中之陰馬トハ大不悍ノ馬也。昔古手廻ニ及ス。暗夜ニ盲目ノ如ク成ヘシ。

陽中之陽馬之事

陽中之陽馬トハ中悍ノ馬也。心正直ナレハ乗能者也。陽中之陰馬ヨリ悍老内ナルユヘ。鞞手廻ニカサシ。掛ヘカラス。調子ツリ上請合ノ口。鞞下輕クシテ走ルナラハ馬ニ利ツサセニクル心大ノ秘事也。劣足ツ出サセヌヤウニシテ。純合ツ馬ニ持セヨル。事專也。馬

上体ニシテ。肥ノ体アラハ。早馬トナルヘシ。唯手廻ノ純合。鞞中心ニ秘事アリ。口傳

一大陽之馬ニ悪念アルツ。口ト云ハ。陽中之陽馬ノ

乗掛ニテ。鞞教日教重ナル。一旦ハ乗ル。者也。專

一ノ大小ニ口傳

一陰馬ニ悪念アルツ。不行馬ト云ハ。陽馬ニ込ロアラハ

痛ト知ルヘシ。前強成ツ。口ニ痛ヲ付ハ。必ス込者也。

切ル。口モアリ。立コモアリ。痛ツ直シテ。乗立ヘシ

口傳



一陽馬ハ小長ニシテ口出静也勿論既中ニ陰成  
者也陰馬ハ大長ニシテ口出荒ク既中ニ陽成者也  
故ニ陰陽ニ物ヲ辨テ乘機シホトコス者也口傳

一乘人者天シ司テ馬符ニ駕テ口相也馬者地シ  
司テ下ニ位コ方ニ走テ方相ナリ故ニ地之馬シ天之乘  
人陰陽ニ理シ以テ教シナス馬健ニシテ陽ヲ養ス  
レ乗人雜中斷ノ害懸ニ銜ヲ持セテ陰ノ掌  
ニ豊ニ納テ動静端ナク陰陽始ナキカ如ク操

一返リキラスナク放ス取スニ乗ハ馬隨テ成  
一天之響之事 口傳  
一陽之響之事 口傳  
一陰之響之事 口傳  
一氣之響之事 口傳  
一心之響之事 口傳  
一神之響之事 口傳



一木火土金水則一身ニアリ山アリ川アリ風アリ火  
アリ空射アリ何物カ山ヲ見テ山ト見水ヲ水ト見  
一風ヲ風ト南ヤ神ク然ルニ馬ヲ乘事陰陽ニ  
一理也大陰大陽小陰小陽ノ教アリ坎艮震巽離  
一坤兌乾ノ形容アツテ一毛モ私ナキ時ハ能諸

馬ニ應スル者也口傳

一陽子綱トハ上調子清ク移テ程ヲ正クスヘシ又逆  
ニ移テ陰ヲ破ル調子アリ口傳  
一陰子綱トハ下調子清ク移テ程ヲ正クスヘシ又序

ニ反テ陽ヲ納ル調子アリ口傳  
一陽策トハ不ヲ策シマセハ心ヲ乘也  
一陰策トハ不ヲ策シマセハ心ヲ乘也  
一陽鞞トハ生鞞シマセハ清輕キ鞞也  
一陰鞞トハ死鞞シマセハ濁重キ鞞也  
一陽鏡トハ用ク鏡シマセハ起シテ能ハ節ニ當ルヘシ  
一陰鏡トハ下鏡シマセハ臥テ能ハ節ニ當ルヘシ  
一陰馬場陽馬場ト云事口傳南北之馬場ニテ乘  
時ハ南ヘ向テ乘出シ乘納ヘシ東西之馬場ノ時ハ



朝ヨリ昏テハ東へ向乗出レ乗納レシ昏ヨリ夕  
陽ハ西ニ向乗出レ乗納レシ陰ヨリ陽へ乗出ス心  
也口傳

一諸ノ手細心得秘事ヲ習歲月俸ス心ヲ盡スト  
一凡草木ノ如ク成レシ櫻ハ何レモ一樹ナレハ八重  
一重アリ牡丹芍薬モ一草ナレハ種々ノ高下ア  
リ竹ニ鳴鳶モ初音出スト一凡上中下ノ色音  
アリ人間同レ五倫五躰ヲ禀トス一凡上人中人  
下人アト一重ノ花ハ重ニナラヌ物也自性質

ニ徳アツテ性清リテ体直ニシテ色アル人善師  
ニ隨ハ各人上手ニ成事也是又浦山敷思フ事  
ニアラス能ク心懸ヘレサモアラハ氣質ノ色ヨリ  
一重モニ重モナキ凡ノ色ヲモ高潔者也

一日月ノ光天地ヲ照レ上下残ス賤女ノ臥室ニモ光  
ニ高下ナレ是ヲ色光ト云或日待月待ナトシテ  
心ハ正直ナルニ利生アルヲ心光ト云月日ノ光余  
一凡ニアラス我一身ニアリ两眼ニテ多勢ヲ一目ニ  
見渡スヲ色光ト云ハ多勢ノ中ヨリ知者有



ヲ振出スシ心光ト云上悍中悍下悍白曲ノ馬成ト  
イハ氏騎トイナヤ心光ニ浮テ上惡中好下用九呂ノ  
口ノ内ニテ請合ノ口ニ知人ニ逢カ如ク取留掌ニ  
納メ乘掛テ馬隨フ事妙成ヘシ口傳

當流宗師

日本武尊

迎來流

貞純親王

鹿島流

八幡太郎

義家

六條判官

為義

大坪流

湯山入道中原

玄性

大坪式部大輔

廣秀

村上加賀守

永幸

斎藤備前守

因忠

斎藤子藝守

好玄

斎藤備後守

忠玄

斎藤斎宮頭

辰遠

丹別住僧了慶坊

斎藤求馬助

辰光



大坪本流

斎藤主税 定易  
久保田宗煩 入道 弘道  
久保田多忠

大坪本流

久保田宗煩 入道 弘道  
久保田多忠



